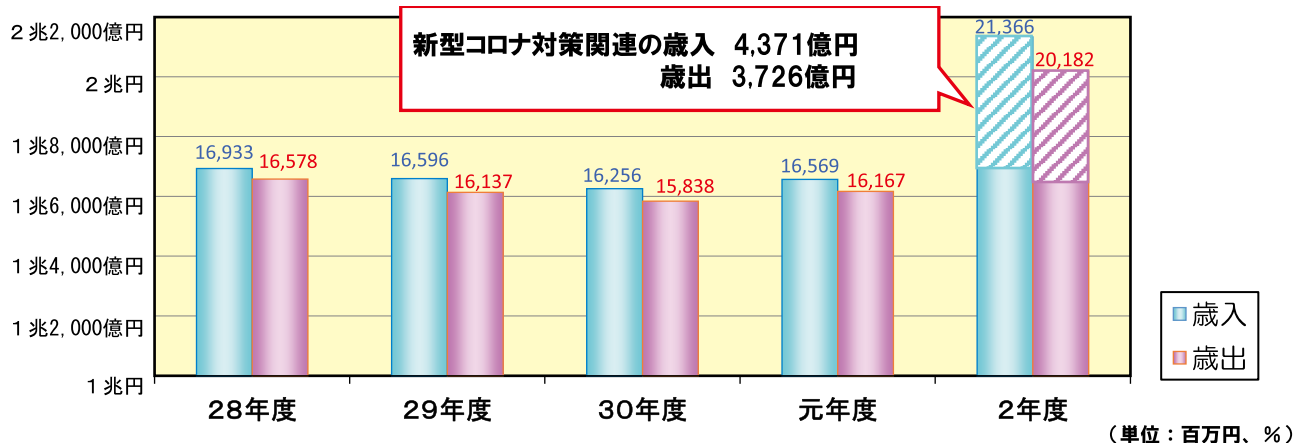


I 令和2年度普通会計決算

概要

- 令和2年度の普通会計決算は、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」と表記します。）対策の実施により、歳入歳出ともに過去最大となりました。対前年度伸び率も歳入で129%、歳出で125%と平成以降で最大となりました。（新型コロナ対策関連の歳入：4,371億円、歳出：3,726億円）
- 歳入については、新型コロナの感染拡大の影響により法人二税が減少したものの、消費税率引上げ（令和元年10月）の平年度化により地方消費税が増加したため、県税収入は増加となりました。また、新型コロナ対策に係る国庫支出金や中小企業振興資金貸付金償還金の大幅な増加により、歳入総額は前年度から4,797億円増加し、2兆1,366億円となりました。
- 歳出については、新型コロナ対策として、感染拡大防止と医療提供体制強化とともに、事業継続や生活困窮者の支援、地域経済の活性化等に取り組みました。また、豪雨災害の復旧・復興、防災減災を進めるとともに、地方創生の実現に向け、県民の誰もが住み慣れたところで「働く」「暮らす」「育てる」ことができる地域社会づくりに取り組み、歳出総額は前年度から4,015億円増加し、2兆182億円となりました。
- 令和2年度の実質収支は、45年連続の黒字となり、黒字額は73億円となりました。（令和3年度中に返納すべき新型コロナ対策関連の国庫支出金268億円を除く。）

最近5年間の決算の推移



区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	
歳入総額 (A)	1,693,270	99.3	1,659,600	98.0	1,625,613	98.0	1,656,890	101.9	2,136,593	129.0	
歳出総額 (B)	1,657,790	99.3	1,613,717	97.3	1,583,844	98.1	1,616,681	102.1	2,018,161	124.8	
形式収支 (A-B) (C)	35,480	100.0	45,883	129.3	41,769	91.0	40,209	96.3	118,432	294.5	
翌年度繰越財源 (D)	32,113	102.4	38,278	119.2	37,539	98.1	36,127	96.2	84,336	233.4	
実質収支 (C-D)	3,367	81.7	7,605	225.9	4,230	55.6	4,082	96.5	※(34,096)	7,252	177.7

※令和2年度の実質収支の上段()は、令和3年度中に返納すべき新型コロナ対策関連の国庫支出金(26,844百万円)を含んだもの。

